

神戸聖愛教会 リードオルガンコンサート

1世紀以上日本の教会の礼拝を支えてきたリードオルガンは風でリードを鳴らす楽器です。その音色はさわやかに吹き込む風のように心の中にしみこんでいきます。

このたび神戸聖愛教会はリードオルガン演奏の第一人者である中村証二さんをお招きしてコンサートを行うこととなりました。どうぞお誘い合わせいらしてください。

今回使用されるリードオルガン (エスティ社)

エスティ (Esty) は1856年創立の米国のリードオルガン製作会社で、世界で初めて吸気式リードオルガンを製品化したとされます。

日本ではこれまで50台程のエスティ社のオルガンが確認されていますが、神戸聖愛教会のオルガンの製造番号は356318で、製作年は1907年前後と思われます。6オクターブの鍵盤を有しており、フランスのハーモニウム曲が弾けるので、今回のコンサートでは、高音域の鍵盤を使う珍しい作品も演奏される予定です。



曲目

サン・サーンス「祈り」Op.1-3 (『3つのハーモニウム曲』より)

ビゼー「カプリース」(ハーモニウムのための『3つの音楽的スケッチ』より)

J.S.バッハ「罪なき神の子羊よ」(『ノイマイスター・コラール』より)

大中寅二「前奏曲」／黒人霊歌「誰も知らない私の悩み」／カーター編「アメイジング・グレイス」ほか

演奏 中村証二 (なかむら・しょうじ)

1961年愛媛県生まれ。広島大学総合科学部(比較文化研究)、東京声専音楽学校(ピアノコース)卒業。ピアノを金井紀子、声楽を岡崎雅明、オルガンを林佑子に師事。曾山一夫との出会いにより、息づかいを大切にするリードオルガン独特の奏法に目を開かれる。

ソロ、アンサンブル、通奏低音奏者として多数の演奏会に出演。専門家の少ないリードオルガン分野において各地で講師として歓迎されている。

ソロCD「そよ風のリードオルガン」(コウベレックス)

日本キリスト教団善通寺教会(香川県)オルガニスト。日本リードオルガン協会運営委員。日本オルガン研究会、日本賛美歌学会、キリスト教礼拝音楽学会、各会員。



2013年10月19日 午後3時 神戸聖愛教会礼拝堂 入場無料

10月20日(日) 10時30分より中村証二さんのリードオルガンによる音楽礼拝が行われます。
どなたでもご自由にご出席ください。

神戸聖愛教会 神戸市中央区生田町1-1-27 078-221-7547 <http://www.kobeseiai.com>
地下鉄新神戸駅より徒歩5分／神戸市営バス布引停留所(2系統)より徒歩3分